

# ファブリックのオンボーディング

- ACI ファブリックのオンボーディング (1ページ)
- NDFC ファブリックのオンボーディング (3ページ)
- NX-OS スイッチのオンボーディング (4 ページ)

# ACI ファブリックのオンボーディング

このセクションでは、1 つ以上の ACI ファブリックを Nexus Dashboard にオンボードする方法 について説明します。

#### 始める前に

・同じクラスタ内では、1つのタイプのサイト(ACI、NDFC、またはスタンドアロンNX-OS) のみをオンボードできます。

同じクラスタ内での ACI と NDFC、ACI と NX-OS、または NDFC と NX-OS の混在オン ボーディングはサポートされていません。

- ファブリック接続で説明しているように、ファブリック接続がすでに設定されている必要 があります。
- ファブリック接続で説明されているように、Nexus Dashboard データネットワーク IP 接続の EPG/L3Out は、すでに設定されている必要があります。
- Nexus Dashboard から。データネットワークを介した Cisco APIC インバンド IP への IP 接 続がすでに設定されている必要があります。
- Nexus Dashboard から、データネットワークを介したリーフノードおよびスパインノードのインバンド IP への IP 接続がすでに設定されている必要があります。

### 手順

ステップ1 [管理(Manage)]>[サイト(Sites)]に移動します。

**ステップ2** [サイトの追加(Add Site)]をクリックします。

これにより、サイトのオンボーディングワークフローが開始します。

ステップ3 [サイトの追加(Add Site)] 画面で、[コントローラベースのサイト(Controller Based Site)]を選択します。

Insights サービスがインストールされていない場合、この選択は表示されず、サイトのオンボーディングは デフォルトでこのオプションになります。

- ステップ4 サイト情報を入力します。
  - •[ホスト名/IPアドレス(Host Name/IP Address)]: Cisco APIC との通信に使用する IP アドレスを入力 します。
    - (注) アドレスを指定する場合、URL文字列の一部としてプロトコル(http:// または https://)を含めないでください。追加すると、サイトのオンボーディングに失敗し ます。
  - •[ユーザー名(User Name)]と[パスワード(Password)]: 追加するサイトで管理者権限を持つユー ザーのログイン情報。
  - (オプション) [ログインドメイン (Login Domain)]: このフィールドを空白にすると、サイトのロー カル ログインが使用されます。
  - (オプション)[ピア証明書を検証(Validate Peer Certificate)]: Nexus Dashboard が、接続先ホスト (例えばサイトコントローラ)の証明書が有効であることと、信頼されている認証局(CA)に署名さ れていることを検証できるようにします。
    - (注) このオプションを使用してサイトを追加する前に Nexus ダッシュボードに証明書が既にイン ポートされていることが必要です。証明書をまだ追加していなければ、オンボーディング ワークフローをキャンセルし、まず Nexus Dashboard ドキュメント ライブラリの「管理者の タスク」の記事に記されている手順に従います。証明書をインポートしたら、ここに説明さ れている方法でサイトを追加します。有効な証明書をインポートせずに[ピア証明書を検証 (Validate Peer Certificate)]オプションを有効にすると、サイトのオンボードは失敗します。
  - (オプション)このサイトのコントローラへの接続にプロキシが必要な場合は、[プロキシの使用(Use Proxy)]オプションを有効にします。

プロキシは、Nexus Dashboard の 管理コンソールですでに設定されている必要があります。

ステップ5 追加のサイトの[詳細(Details)]を入力します。

•[名前(Name)]: サイトの説明となる名前。

•[場所(Location)]: サイトの地理的な場所。このオプションは、オンプレミスサイトでのみ使用できます。

ステップ6 [概要(Summary)]ページで情報を確認し、[保存(Save)]をクリックしてサイトの追加を完了します。

## NDFC ファブリックのオンボーディング

このセクションでは、1 つ以上の NDFC ファブリックを Nexus Dashboard にオンボードする方 法について説明します。



 (注) クラスタを展開したら、[ファブリックコントローラ(Fabric Controller)]>[システム設定 (System Settings)]>[機能管理(Feature Management)]に移動し、サポートされているモー ドのいずれかを選択して、NDFC 展開ペルソナを設定します。

NDFC サービスでファブリックを作成すると、Nexus Dashboard にサイトとして自動的に追加 されます。次の手順は、各サービスが個別のクラスタに展開されているファブリックコント ローラと Insights コロケーションのユース ケースで、異なる Nexus Dashboard クラスタからサ イトをオンボーディングする場合にのみ必要です。

### 始める前に

・同じクラスタ内では、1つのタイプのサイト(ACI、NDFC、またはスタンドアロンNX-OS) のみをオンボードできます。

同じクラスタ内での ACI と NDFC、ACI と NX-OS、または NDFC と NX-OS の混在オン ボーディングはサポートされていません。

- ファブリック接続で説明しているように、ファブリック接続がすでに設定されている必要 があります。
- •ファブリックとスイッチへのレイヤ3接続がすでに設定されている必要があります。
- クラスタが AWS または Azure に展開されている場合は、データ インターフェイスでイン バウンド ルールを設定する必要があります。

#### 手順

- ステップ1 [管理 (Manage)]>[サイト (Sites)]に移動します。
- ステップ2 [サイトの追加(Add Site)] をクリックします。

これにより、サイトのオンボーディングワークフローが開始します。

- ステップ3 [サイトの追加(Add Site)] 画面で、[コントローラベースのサイト(Controller Based Site)]を選択します。
- ステップ4 サイト情報を入力します。
  - •[ホスト名/IP アドレス(Host Name/IP Address)]: Cisco NDFC との通信に使用する IP アドレスを入 力します。

- (注) NDFC サイトの場合、これは NDFC のインバンド IP アドレスである必要があります。
   アドレスを指定する場合、URL文字列の一部としてプロトコル (http:// またはhttps://)
   を含めないでください。追加すると、サイトのオンボーディングに失敗します。
- •[ユーザー名(User Name)]と[パスワード(Password)]: 追加するサイトで管理者権限を持つユー ザーのログイン情報。
- (オプション) [ログインドメイン (Login Domain)]: このフィールドを空白にすると、サイトのロー カル ログインが使用されます。
- (オプション)[ピア証明書を検証(Validate Peer Certificate)]: Nexus Dashboard が、接続先ホスト (例えばサイトコントローラ)の証明書が有効であることと、信頼されている認証局(CA)に署名さ れていることを検証できるようにします。
  - (注) このオプションを使用してサイトを追加する前に Nexus ダッシュボードに証明書が既にイン ポートされていることが必要です。証明書をまだ追加していなければ、オンボーディング ワークフローをキャンセルし、まず Nexus Dashboard ドキュメント ライブラリの「管理者」 の記事に記されている手順に従います。証明書をインポートしたら、ここに説明されている 方法でサイトを追加します。有効な証明書をインポートせずに[ピア証明書を検証(Validate Peer Certificate)]オプションを有効にすると、サイトのオンボードは失敗します。
- ステップ5 追加のサイトの[詳細(Details)]を入力します。
  - •[名前(Name)]: サイトの説明となる名前。
  - •[場所(Location)]: サイトの地理的な場所。このオプションは、オンプレミスサイトでのみ使用できます。
- ステップ6 [概要(Summary)]ページで情報を確認し、[保存(Save)]をクリックしてサイトの追加を完了します。

## NX-OS スイッチのオンボーディング

ここでは、1 つ以上のスタンドアロン NX-OS スイッチを Nexus ダッシュボードにオンボード する方法について説明します。



- (注) コントローラ(APICやNDFCなど)を使用せずにスタンドアロンNX-OSスイッチをオンボー ディングする場合、次の制限が適用されます。
  - ・同じクラスタ内では、1つのタイプのサイト(ACI、NDFC、またはスタンドアロンNX-OS) のみをオンボードできます。

同じクラスタ内での ACI と NDFC、ACI と NX-OS、または NDFC と NX-OS の混在オン ボーディングはサポートされていません。

- Nexus Dashboard Insights サービスのみがスタンドアロン NX-OS スイッチをサポートします。
- NX-OS スイッチのオンボーディングをサポートするのは、物理 Nexus Dashboard クラスタのみです。
- スタンドアロン NX-OS スイッチをオンボードするのと同じ Nexus ダッシュボード クラス タに NDFC サービスをインストールしないでください。
- スタンドアロンNX-OSスイッチをオンボーディングする前に、以下のステップ3で説明 するように、クラスタで「NX-OSスイッチディスカバリ」を有効にする必要があります。

NX-OS スイッチ検出の有効化は、管理者ユーザーが行う必要があります。

 ・また、データネットワークに10個の永続IP(IPv4を使用している場合)および8個のIP (IPv6を使用している場合)を設定する必要があります。

永続IPは、[Nexusダッシュボード(Nexus Dashboard)]>[管理コンソール(Admin Console)]>[システム設定(System Settings)]>[外部サービスプール(External Service Pools)]>[データサービス IP(Data Service IPs)]ページで設定できます。

- ・すべての NX-OS スイッチで NX-OS スイッチの自動検出のための Cisco Discovery Protocol (CDP)を有効にする必要があります。
- NX-OS スイッチの自動検出はスイッチの管理インターフェイスを使用するため、Nexus DashboardをNX-OS スイッチの管理ネットワークへ到達できるように設定する必要があり ます。

Nexus Dashboard のデータ ネットワークを NX-OS スイッチのインバンド ネットワークへ 到達できるように設定する必要があります。

#### 手順

**ステップ1** [管理(Manage)]>[サイト(Sites)]に移動します。

ステップ2 [サイトの追加(Add Site)] をクリックします。

これにより、サイトのオンボーディングワークフローが開始します。

- ステップ3 [サイトの追加(Add Site)] 画面で、[NX-OS スタンドアロンサイト(NX-OS Standalone Site)]を選択し ます。
  - (注) コントローラなしで NX-OS スイッチを初めてオンボーディングする場合は、[NX-OS 検 出の有効化(Enable NX-OS Discovery)]をクリックします。
- ステップ4 サイト情報を入力します。

		Add Site
1	Add Site	Add your site's host name/IP and login information below to fetch your site and add it to Nexus Dashboard.
2	Details	Controller Based Site NX-OS Standalone Site
3	Switch Selection	Seed Switch IP Address •  172.28.243.115
4	Summary	Username •
		admin
		Password *
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
		Authentication Protocol
		MD5 ~

- •[シードスイッチ IP アドレス(Seed Switch IP Address)]: サイト内の他のスイッチを検出するために 使用されるシード スイッチの IP アドレスを指定します。
- •[ユーザー名(Username)]と[パスワード(Password)]:シードスイッチのログインクレデンシャル。
- ステップ5 追加のサイトの[詳細(Details)]を入力します。
  - •[名前 (Name)]: サイトの説明となる名前。
  - •[場所(Location)]: サイトの地理的な場所。このオプションは、オンプレミスサイトでのみ使用できます。

ステップ6 [スイッチの選択 (Switch Selection)]ページで、サイトに追加する1台以上のスイッチを選択します。

スイッチ検出プロセスのデフォルトでは、シードスイッチから2ホップ離れたスイッチが表示されます。 デフォルトの設定は、[ホップ数(Number of Hops)]ドロップダウンを使用し、[スイッチの再検出 (Rediscover Switches)]をクリックして変更できます。

Detaile		NCISCO	Seed Switch	Туре			
Details		101300	172.20.243.113		NX 05		
Switch Selection	Number of Hops						
Summary	2	Rediscover S	switches				
	Discovered Switches			Switches to be Ad	ded to Fabric		
	Filter by attributes			Filter by attributes			
	Name	IP Address	Manageable	Name	IP Address	Switch Role	
	EOR	172.28.243.112	•	nd76vg-Lea	f 172.28.243.113	Leaf	
	nd91-n7k- tbmix121- n3k1	0.0.0.0	Add/Edit routes	nd77vg-Lea	f 172.28.243.114	Leaf	
	nd94vg-Leaf	172.28.243.117	0	nd85vg-SP	172.28.243.115	Spine	
	3 items found Rows p	erpage 10 ~	$\langle 1 \rangle$	nd86vg-SP	172.28.243.116	Spine	

スイッチが検出されたら、左側のリストでサイトに追加するすべてのスイッチを選択し、右矢印をクリッ クして右側のリストに移動します。

スイッチはデフォルトのリーフロールで追加されますが、必要に応じて他のロールに変更できます。[次へ (Next)]をクリックして続行します。

**ステップ7**[概要(Summary)]ページで情報を確認し、[保存(Save)]をクリックしてサイトの追加を完了します。 ステップ8 (オプション)既存のスタンドアロン NX-OS サイトにスイッチを追加します。

まずサイトを追加した後に、GUI でサイトを選択して [スイッチを追加(Add Switches)]を選択します。

(OS-SANFRANCISCO										
eral Switches	Events						add Switches			
Filter by attributes										
Name/ID	Serial Number	Config Status	Discovery Status	IP Address	Switch Role	Software Versio	'n			
nd76vg-Leaf	FD0230118MH	Pending	ok	172.28.243.113	Leaf	10.4(2)				
nd77vg-Leaf	FD0230118TV	Pending	ok	172.28.243.114	Leaf	10.4(2)				
nd85vg-SP	FDO22330L1E	Pending	ok	172.28.243.115	Spine	10.4(2)				
nd86vg-SP	FDO22342LBF	Pending	ok	172.28.243.116	Spine	10.4(2)				
items found					Rows per	page 10 🗸	< 1 >			

I

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。